

大府市学童保育連絡協議会（市連協）とは

2024年度

☆はじめに☆

大府市には各学区に公設の放課後クラブがあり、それとは別に、市から補助金をもらって運営している民間の学童保育所があります。（国や市はこれらをまとめて「放課後児童健全育成事業」と呼んでいます。）

わんぱくクラブは民間の学童保育所です。そのため、わんぱくクラブの運営状況を改善するために行政や地域の議会議員の方に働きかけて、「今こんなことに困っていて大変です。」とアピールすることが必要になってきます。しかし、わんぱくクラブ単体で働きかけても、一団体の要望ととらえられ積極的に改善の方向へいきませんでした。

☆市連協って何？☆

大府市で同じように父母（父母会）主体で運営している学童保育所と連携して市や議員に働きかけ学童保育の現状を改善しようという考えからできたのが、大府市学童保育連絡協議会（市連協）です。現在市連協には、わんぱくクラブとどろんこクラブ（大府小・大東小学区）の2学童が加盟しています。1世帯年間2,000円の会費と毎月の保育誌代（340円）を保育料から頂いています。保育誌代は、その一部が学童保育連絡協議会の活動費に充てられています。保育誌は、父母や支援員の『こういう時どうしたらいい』という悩みに答えてくれる冊子です。ぜひご一読ください。

☆市連協の活動内容☆

市連協の理事（会長、会計、事務局）や役員は2学童の父母から選出します。

市連協では、市長や市担当者との懇談の場を作り、保育内容の向上や支援員の処遇改善のための補助の要求や増額の要望をしています。また、市担当者と日ごろから連絡を密にし、困りごとに対応してもらえる関係づくりをしています。地域の議会議員とも懇談を行って、学童保育の現状と問題点をお伝えし、議会の話題にあげてもらおうよう働きかけています。このような活動を行うために方針を確認する総会が1年に1回（年度始め）にあり、月に1回運営会議をしています。

学童保育の内容をより良くしていこうという取り組みは市町村だけでなく国や県でも行われており、全国学童保育連絡協議会（全国連協）、愛知学童保育連絡協議会（県連協）がその役割を担っています。大府市連協はこれらに加盟しています。市連協の活動について、ご理解とご協力の程よろしく申し上げます。